

7月会長定例記者会見

Q. 九州南部の記録的大雨について

A. (上田会長) 九州南部では記録的な大雨となりました。地盤が緩んで少しの雨でも土砂災害のおそれがあり、引き続き厳重な警戒が必要です。NHKでは、全国放送と地域に根差した地域放送局からのローカル放送やインターネットで、視聴者の皆さまが求めている情報をきめ細かく発信しています。「命と暮らしを守る報道」に全力を挙げ、引き続き防災・減災報道で公共メディアとしての役割を果たしていきます。

Q. 参議院選挙について

A. (会長) NHKでは、これまでと同様、各党の政策や争点など、視聴者の投票のための判断材料となる情報を公平・公正に提供するとともに、開票状況や政局の動きなどを正確・迅速にお伝えする方針です。また、本部と地域放送局あわせて54局のネットワークを生かし、全国の状況はもちろん、地域ごとの政策テーマや選挙情勢、その結果をきめ細かくお伝えします。今回の参議院選挙でも、視聴者・国民の関心にしっかりと応えられるよう、テレビやラジオ、国際放送、それにインターネットなど、あらゆる伝送路を通じて、わかりやすく、視聴者の判断の拠り所となる選挙報道をお届けすることにしています。

総合テレビでは、開票速報番組「参院選2019開票速報」を7月21日午後7時55分から放送します。開票速報に伴い、この日の大河ドラマ「いだてん」は休止とさせていただきます。ラジオ第1、FM、国際放送でも、開票速報をお伝えします。また、当選・当確者や最新の開票状況は、インターネットや携帯電話、スマートフォン、それにデータ放送でもお伝えします。

NHKでは、全国に張り巡らした取材網を生かして、選挙情勢の綿密な取材を行うとともに、各放送局が開票速報の準備に総力を挙げて取り組んでいます。開票速報では、こうした事前の情勢取材や出口調査の状況などを総合的に分析して、候補者の当選が確実と判断した場合は、正確かつ迅速に当選確実を打ち出すという方針で臨みます。

Q. 東京オリンピック・パラリンピックまで1年について

A. (会長) 3か年経営計画でもお示ししている通り、NHKは、「最高水準の放送・サービス」を視聴者の皆さまに提供することを目標に準備を進めています。東京2020でわたしたちが視聴者の皆さまに伝えたいこと、それを「4つの約

束」にまとめました。

1つめは「スタジアムの興奮を日本全国で体感できます。」です。オリンピック、パラリンピックともに、放送時間は過去最大規模となる見通しです。中でも8Kでの中継は過去最大規模で実施し、オリンピック、パラリンピックとも、開閉会式や注目競技で行います。パラリンピックで、8Kで競技を生中継するのは、大会史上初めてとなります。

2つめは「いつでもどこでも決定的瞬間をお届けします。」です。テレビ放送に加え、それを補完するデジタル展開により、いつでもどこでも決定的瞬間を見逃すことなくご覧いただけます。ロボット実況や自動字幕などイノベーティブな技術の導入により、より多くの方々が放送・サービスを楽しんでいただけるような準備も進めてまいります。

3つめは「日本をひとつにつなぎます。日本が世界につながります。」です。来年3月26日から行われるオリンピック聖火リレーと、来年8月に国内各地で採火されるパラリンピック聖火リレーについて、NHKは地域放送局のネットワークを生かし、ライブ映像を中心に発信していきます。

4つめは「共生社会の実現に貢献します。」です。パラリンピックが理念として掲げる「共生社会の実現」を、NHKも放送・サービスを通じて後押ししていきます。世界から集まる魅力あふれるパラアスリートの姿を幅広く伝えます。また障害のある人、日本語が分からない訪日外国人など、あらゆる人たちがともに楽しむことができる「ユニバーサル放送・サービス」を提供します。

そして、パラ競技やパラアスリートの魅力を伝えていく人たちを「NHKパラリンピック放送リポーター」と位置づけることとし、まず、NHKが障害がある人に呼びかけて採用した後藤佑季さん、千葉絵里菜さん、三上大進さんの3人のリポーターに活躍してもらうことになりました。

NHKはこの「4つの約束」の実現を通じて、2020年、そしてさらにその先の時代を見据えた公共メディアとしての放送・サービスの姿をお示ししていきたいと考えています。
(詳細は報道資料参照)

Q. 8月のBS8K番組について

A. (会長) 8月のNHK BS8Kは、“日本の夏祭り”を集中的に編成していきます。日本各地で開催される夏祭りを超高精細の映像と立体的な音響で生中継します。新潟県の「長岡まつり大花火大会」、青森県の「ねぶた祭り」、徳島県の「阿波踊り」、秋田県の「大曲の花火」を、それぞれまるで特等席で見ているかのように、圧倒的な臨場感でお楽しみいただけます。

9月のBS8Kは「世界が8Kを作りはじめた」と題して、アメリカや中国など、世界で制作されている8Kコンテンツを皆さまにお届けする予定です。今後もBS4K、BS8Kの魅力が十分伝わるコンテンツの拡充や、その普及推進に向けた様々な取り組みを行ってまいります。

その取り組みの1つとして、8月1日から3日の期間で、東京ミッドタウン日比谷

で8Kパブリックビューイングを行います。8月29日から9月1日はBS4K、BS8Kの魅力をより多くの方々に知っていただくための普及推進イベント「こっちすごいよ！4K8Kスーパーハイビジョンパーク」を同じく東京ミッドタウン日比谷で行います。

また8Kの映像体験やデジタルコンテンツの提供など、放送の新しい価値を体感できる場「NHKプラスクロスSHIBUYA」が11月にスタートします。場所は渋谷駅に直結する大型商業施設「渋谷スクランブルスクエア」の14階です。渋谷の中心から日本、そして世界に向けて新たなメディアの可能性を発信していきます。
(詳細は報道資料参照)

Q. ABUロボコン・モンゴル開催について

A. (会長) 8月、モンゴルで開かれる「ABUアジア・太平洋ロボットコンテスト」についてご紹介します。このコンテストは、NHKなどが加盟するABU＝アジア太平洋放送連合が主催し、アジア・太平洋地域の学生たちが、手作りロボットで競い合うものです。2002年にNHKの提案で始まり、今年で18回目となります。

今年のABUロボコンは、8月25日にモンゴルのウランバートルで行われ、16の国と地域から17チームが参加します。今回の競技課題は、かつてのモンゴルでの「馬による駅伝」をモチーフにしたものです。メッセンジャーに見立てた「4脚で移動するロボット」が、砂丘や川を模した障害物を超えていき、タイムを競います。日本代表チームが、世界の強豪を相手に6年ぶりの優勝を勝ち取ることができるのか、熱戦が期待されます。ABUロボコンの様子は、9月23日に総合テレビで放送を予定しています。
(詳細は報道資料参照)

Q. 女性登用の推進について

A. (会長) NHKは「日本放送協会 行動計画」において、「2020年に女性管理職の割合を10%以上にする」という目標を掲げていますが、6月に管理職異動を行い、関連団体の新たな役員体制も決まりました。女性の地域放送局長と本部の部局長を合わせ、昨年の10名から14名に、管理職に昇進した女性は42名から50名に増えています。女性管理職の比率は昨年度の8.7%から9.5%になっていて、先ほど申し上げた目標は達成できる見通しです。一方、関連団体では、子会社としては初めて、株式会社NHK文化センターの社長に女性が就任したほか、関連公益法人等にあたる日本放送協会健康保険組合の理事長にも女性が選ばれました。今後も女性職員を適正に処遇・登用しつつ、誰もが働きやすい職場環境を作り上げてまいります。

Q. 2019年度第1期末営業業績について

A. (会長) 2019年度第1期末、5月末までの営業業績について、契約総数の増加は12万4千件で、2019年度の年間計画43万件に対して28.9%、衛星契約の増加は15万6千件で、年間計画58万件に対して26.9%の進捗となりました。第1期の業績は、契約総数、衛星契約ともに、好調だった前年度には及びませんでした。引き続き、年間計画達成に向け全力で取り組んでまいります。

(詳細は報道資料参照)

(以上)